

理学療法評価学総合演習

[演習] 第2学年 後期 必修 1単位

《担当者名》 小島悟 泉唯史 鈴木英樹 吉田晋 高橋尚明 武田涼子 長谷川純子 佐々木祐二 澤田篤史 大須田祐亮
中村宅雄 山根裕司 佐藤一成 鈴木伸弥 岩部達也 多田菊代

【概要】

2年次後期に実施される臨床実習（検査測定実習）に臨むにあたり、これまで修得した知識を整理し、技能の向上および患者とのコミュニケーション、知識の具現化を図る。なお、演習では、学内において臨床現場を想定した医療面接や検査測定に関する客観的臨床能力試験（以下、OSCE）を実施する。

【学修目標】

これまで学内で修得してきた知識ならびに技術の総まとめを行うとともに、臨床に即した医療面接や検査測定手技の応用について学び、2年次後期の臨床実習（検査測定実習）を円滑に実施できるようになる。

1. 1年次および2年次に修得した知識の整理が出来る。
2. 実施する検査・測定項目の測定方法を、対象者に説明できる。
3. 指導者の指導・監視の下に必要な検査・測定を実施できる。
4. 検査・測定項目を、正確に遂行できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	講義計画の概要及びOSCEについての説明。	小島悟 山根裕司 佐藤一成 鈴木伸弥
2) 4	触診・形態計測 関節可動域測定 徒手筋力測定法	2年次前期までに習得した知識及び検査・測定手技について知識と技能の確認を行う。	小島悟 吉田晋 長谷川純子 中村宅雄 山根裕司 佐藤一成 鈴木伸弥 岩部達也 多田菊代
5) 6	総合演習	触診・形態計測、関節可動域測定、徒手筋力測定法についての復習テストを行う。	全教員
7) 9	感覚・知覚検査 反射・病的反射検査 協調性検査・バランス検査 筋緊張検査 運動麻痺検査 脳神経検査	2年次後期までに習得した知識及び検査・測定手技について知識と技能の確認を行う。	小島悟 吉田晋 長谷川純子 中村宅雄 山根裕司 佐藤一成 鈴木伸弥 岩部達也 多田菊代
10) 11	プレOSCE	模擬患者に対して理学療法評価における検査・測定手技を用いた演習を行う。	小島悟 吉田晋 長谷川純子 中村宅雄 山根裕司 佐藤一成 鈴木伸弥 岩部達也 多田菊代
12) 13	OSCE	OSCEを実施する。	全教員

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
14 }	OSCE振り返り	OSCE実施後、フィードバックを行い、それぞれ不足している部分に対して再度演習を行い、臨床実習に備える。	全教員
15			

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

OSCE 40%

知識確認テスト 40%

授業への取り組み態度 20%

【備考】

開講日に関しては後日連絡する。

【学修の準備】

予習は、2年生後期までの関連科目の教科書および配付資料を復習し、実技が行えるよう理解しておくこと。（80分）

復習は、授業内容に関する実技練習を行うこと。（80分）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP1）人は人の中でこそ人として生きていけます。お互いがお互いの命や生きることを大切に思える心と感性、そのために必要な幅広い教養、そしてそれを対象者と共有することのできるコミュニケーションを身につけます。